

# みやた歯科通信

2010.6.18

## 特集：舌痛症と漢方薬

舌痛症とは、舌の先や舌全体がヒリヒリしたり、もっと鋭利な痛みがあったりと辛い病気です。高齢者に良く見られますが、若い人でもこの症状を訴える人は少なくありません。原因は実に様々で、それだけに確実な診断が難しいやっかいな病気の一つです。宮田歯科医院でも多くの舌痛症の患者さんをみてきましたが、大きく分けると次の原因が考えられます。

### 原因

- 1 抗鬱剤、精神安定剤、睡眠導入剤あるいは睡眠薬などの精神薬を飲んでいる方。このような患者さんは精神薬の副作用で口腔が渇き、結果的に舌が膨らみ(胖大舌)菌などでこすれて痛くなるケース
- 2 何らかの消耗性疾患(肝疾患、腎疾患、アレルギー、リウマチ、胃腸疾患など)が背景にあってそれらが原因で舌の先などが過敏になり痛みを感じる
- 3 加齢による代謝障害が原因で舌が大きくなる(胖大舌)

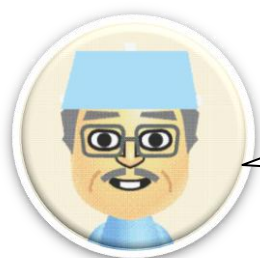
以上のような原因が考えられますが、宮田歯科医院に来院する舌痛症を訴える患者さんの6割くらいは1.の精神薬の副作用の方です。残りの3割は加齢が原因で、消耗性疾患による患者さんは多くはありません。

### 対策

いずれの原因も中国医学でいうところの身体が消耗して虚した状態と診ますので、消耗した状態を補う漢方薬を使います。加齢によるものは多くが中国医学の「腎」が虚した状態ですから「六味丸」という名処方がありますので、それを中心に処方します。

喉の渇きが特に強く、口腔が熱している場合は、口腔を冷やす作用のある「黄連解毒湯」という苦い漢方薬を使います。

全身の冷えが強い場合は「八味地黄丸」という身体を暖めて腎や肝を強くする漢方薬を使いますが、これは長期連用は致しません。



口腔の様々なお悩みに漢方薬が良く効く場合があります。相談は宮田歯科医院の院長が丁寧にお伺いいたします。ご遠慮なく申しつけ下さい。